

(英語版)

(アラビア語版)

令和二年二月

## 天然ガスに国際政治が絡み大荒れの東地中海

東地中海の天然ガス開発と海底パイプライン敷設を巡りキプロス、トルコ及びギリシャ3国間に紛争が発生している。問題を複雑にしているのが地域最大のガス田を有するイスラエルと世界最大の天然ガス輸出国ロシアがパイプライン敷設を巡ってしのぎを削っていることである。ロシアのヨーロッパ向け天然ガスパイプラインの中継国であるトルコは北アフリカのリビアとの間で排他的経済水域(EEZ)を設定し長年の宿敵キプロスを抑え込もうとしている。

さらにここには天然ガスをめぐるロシアと米国のしのぎ合い及び中東・北アフリカの主導権をめぐるトルコとサウジアラビア・UAEの争いが絡んでいる。西ヨーロッパのエネルギーをロシアに握られることを嫌う米国はロシアのパイプライン建設にクレームをつけている。アフリカの資源大国リビアではトルコ及びカタールが西部トリポリを拠点とする正統政府を支援し、一方サウジアラビア及びUAEは東部の反政府ハフタル軍閥を支援している。対立の根底にはサウジ・UAEがリビア正統政府をムスリム同胞団寄りだとみなしていることにある。2017年にムスリム同胞団の問題をめぐってサウジ・UAEがカタールと断交、カタールがトルコに救いを求めており、その構図がそのままリビアに反映されている。

ただし問題は一筋縄ではない。ロシアの戦争請負企業ワグナーグループがハフタル軍閥を支援しており、リビアはロシアの有力な武器輸出市場である。ここではトルコとロシアの利害は対立している。またヨーロッパはリビアから天然ガスを輸入しているが、同時にリビア地中海沿岸からの難民流入に悩まされている。ヨーロッパは天然ガスの輸出は歓迎だが、難民の流入は困る。「モノ」はOKだが「ヒト」は願いたいということである。リビアの安定のためトリポリ正統政府と良好な関係を維持したいのである。

リビアの隣国エジプトはどうかと言えば、サウジ・UAEの同胞団排除政策に同調してカタール断交に加わり、リビアではハフタル軍閥支持を表明している。しかし同国は経済再建が最優先であり、隣国イスラエルからの天然ガス輸入を開始した。経済再建に失敗

すれば「アラブの春」の悪夢が再来する。シーシ軍事政権は当面国内の民主勢力或いは隣国イスラエル及びリビアを刺激しないよう息をひそめている。

東地中海は荒れ模様である。ここでは問題をガスパイプライン敷設に絞って地域の動きを眺めてみよう。

### 発端はイスラエルの巨大ガス田発見

問題の発端は2010年から2013年にかけてイスラエル領海の東地中海に巨大ガス田 Tamar と Leviathan が相次いで発見されたことである。Tamar ガス田は2013年に、Leviathan ガス田は昨年12月に生産が始まった。特に Leviathan の埋蔵量は国内消費量の40年分と言われ、いまやイスラエルはガス埋蔵量4千億立方メートル(石油換算26億バレル)のエネルギー大国に変身した。同国は天然ガスの輸出に着手、すでにエジプトへの輸出を始めており、まもなくヨルダンにも輸出しようとしている。さらにイスラエルはギリシャ及びキプロスと海底パイプライン East Med Pipeline 敷設に合意、西ヨーロッパへのガス輸出も視野に入ってきた。

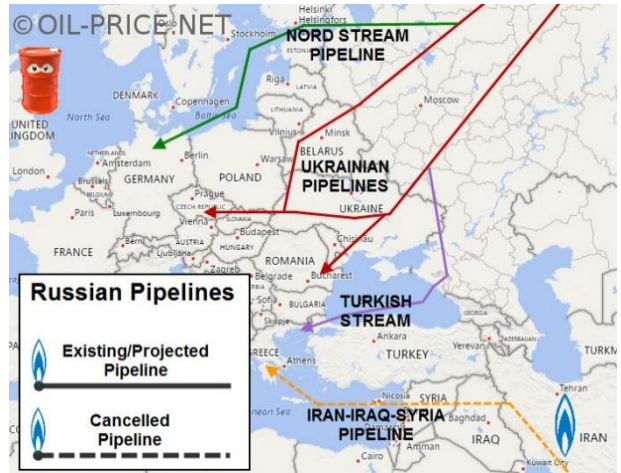
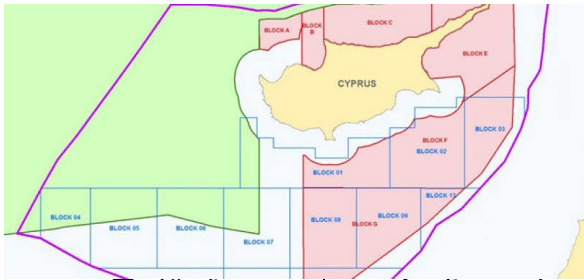
### ヨーロッパを目指すイスラエル・キプロスとロシア・トルコの2本のガスパイプライン

ギリシャ系住民とトルコ系住民が混在するキプロスは第二次大戦後の独立運動の過程でギリシャとの併合をめぐる1970年代に内紛状態となった。1974年にはトルコが軍事介入し、キプロス共和国と北キプロス・トルコ共和国に二分され、それ以来ギリシャ、トルコ、キプロス共和国の3カ国は相互に緊張関係が続いている。一方で3カ国は共にNATO(北大西洋条約機構)に加盟しており、米ソ対立、デタントの時代を通じて政治的にはある種の平衡関係を保ってきた。

しかしイスラエルのガス田発見を契機に東地中海沿岸各国で天然ガスの開発機運が高まった。沿岸諸国にはイスラエルのほか、レバノン、シリア、トルコ、キプロスの4カ国があるが、レバノン、シリアは国内の政治・経済が不安定であり、資源開発どころではなく、トルコとキプロスが開発に名乗りを上げている。なお、エジプトはナイル・デルタの沖合にいくつかのガス田があるが、すでに生産が下降段階にありLNGの設備が余っている状況である。



最初に開発に乗り出したキプロスでは伊ENI、仏Totalなどが探鉱作業中である。これに対してトルコはキプロス近辺の鉱区で探鉱作



業を始めているが、鉱区の設定をめぐりキプロス政府と衝突を繰り返している。(図参照)

但しこれまでのところ両国とも商業量に見合うガス田を発見していない。そのためガス輸出国と組んで自国消費用の天然ガスを輸入し、さらに余剰分をヨーロッパ大陸に搬送するガスパイプラインの建設を目論んでいる。それがイスラエル/キプロス/ギリシャによる East Med Pipeline であり、ロシア/トルコによる Turkstream である。

因みにロシアのヨーロッパ向け天然ガスパイプラインは大きく3つのルートに分かれる。第一のルートはユーラシア大陸の陸上パイプラインであり、歴史的にも最も古く、ウクライナを経由するルートが最大のものである。その後、2012年にロシアとドイツを直結するバルト海の海底パイプライン Nordstream が完成した。これは西ヨーロッパで石炭火力及び原子力発電が敬遠され、環境負荷が少ない天然ガスへの切り替えが進んだことが一つの理由である。

しかしロシア産ガスの消費国であり同時にヨーロッパ向けパイプラインの中継地であるウクライナとロシアの間でガス価格の紛争が頻発、ドイツが陸上パイプラインによるロシアからのガス輸入に不安を抱いた。これも Nordstream 建設の理由の一つである。ウクライナとロシアの関係はその後クリミア半島の領有をめぐるさらなる険悪化しており、ロシアはウクライナ経由の陸上パイプラインに加え、北のバルト海及び南の黒海に海底パイプラインを敷設する三方面作戦を実行中である。(図参照)

### 一致するロシアとトルコの利害

ヨーロッパ向け天然ガス輸出を有力な外貨獲得源と位置づけるロシアは、ウクライナとのガス紛争を回避するため、バルト海の Nordstream に続き、黒海からブルガリアを経由してヨーロッパに至るパイプライン Southstream 建設を目指した。その後同計画はトルコ経由ルートに変更された。それが Turkstream である。1月8日にイスタンブールでロシア・トルコ両国大統領列席のもと Turkstream の完工式が行われた<sup>80</sup>。

一方、完工式のわずか数日前、イスラエル、キプロス、ギリシャ3カ国は東地中海に海底パイプラインを敷設する

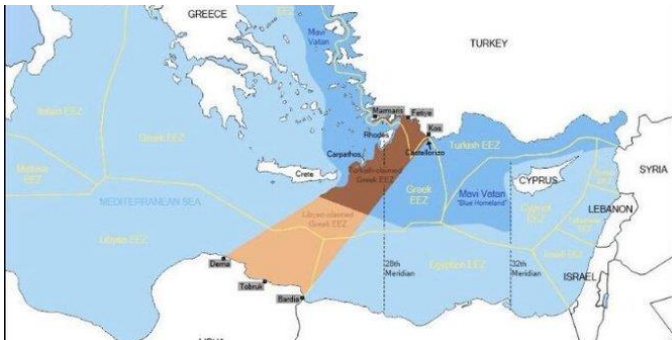
計画 East Med Pipeline 構想を打ち出した。これは将来イタリアなど西ヨーロッパ向け輸出も視野に入れたものであり、Turkstream の強力なライバルになる。トルコはこれを見越してできなかった。イスラームを信奉するトルコにとってユダヤ教のイスラエル、キリスト教(ギリシヤ正教)のギリシヤとはいずれも宗教的な対立関係にある。またキプロスとは領土問題で戦火を交えた緊張関係が今も続いている。さらにトルコの永年の夢であるEU加盟を阻止しているのもギリシヤとキプロスである。トルコはリビアとEEZ(排他的経済水域)協定を結び、East Med Pipeline を阻止する作戦に乗り出した<sup>10)</sup>。

国際海洋法上ではトルコとリビアは領海あるいはEEZが直接接することはない。しかしトルコは自国のユーラシア大陸棚とリビアのアフリカ大陸棚が遭遇していると言いついささか強引な理屈をつけて両国間のEEZ協定を正当化している。このEEZはイスラエルからヨーロッパへのパイプラインを阻止しようとする目的が明白である。またこれはキプロス封じ込めにもつながるものである。(図参照)

### 幾重にも重なる東地中海天然ガスパイプラインの問題

Turkstream と East Med Pipeline には幾重にも重なる問題が隠されている。トルコとキプロスの長年にわたる抗争は2国間の問題であると同時にヨーロッパとの関係で見るとトルコは軍事同盟であるNATOの最前線東方基地としてキプロス以上に重要な存在である。しかしながらトルコはEU加盟の道筋が見えず、その障害の一つがギリシヤあるいはキプロスの反対である。さらに人道問題ではトルコがシリアの政治難民のヨーロッパ流出を食い止めており、またリビアはアフリカ大陸の経済難民の出発地となっている。ヨーロッパ諸国としては難民流入抑制で両国との協力関係が欠かせない。

これら二国間あるいは地域問題に加え、ヨーロッパの天然ガス市場を巡る米国とロシアの駆け引きがある。ロシアは歳入の大きな割合を天然ガス輸出に依存しており、ヨーロッパ向けはその中核である。そのためロシアはパイプラインの増強に余念がない。しかしロシアの動きをこれまで見逃してきた米国の態度に変化が現れた。米国はロシアを押しさえつけようとする旧ソ連以来の基本戦略に加え、ヨーロッパを「NG」の輸出市場ととらえてロシア排除に乗り出したようである。その理由は米国がシェールガス大増産の結果、天然ガスの輸出国になろうとしていることである。米国はバルト海の第二 Nordstream を工事中断に追い込み、さらに Turkstream の施工業者に経済制裁をちらつかせている。米国最大の盟友イスラエルの East Med Pipeline 実現にトランプ政権が介入する可能性は高い。



世界一の強国となった米国トランプ政権のアメリカ・ファースト政策の前では、ドイツはおるかフランスなど西欧主要国、さらにロシアも歯が立たない。まして中東の大国と言われるトルコがとてもかなう相手ではない。東地中海の天然ガス問題もトランプ政権の出方次第と言えよう。

但し、楽観的見方をすれば、トランプ政権はこの問題に深入りすることはなさそうである。何よりも損得第一の大統領にとって東地中海のガス問題で得る利益は大したことがないからである。彼のグレートゲームの目標は大統領選挙に勝つことであり、そのためには経済問題で中国を、そして政治問題でイランを屈服させることに尽きるであろう。

完

本件に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

荒葉一也

[Arehakazuya1@gmail.com](mailto:Arehakazuya1@gmail.com)

---

<sup>1</sup> Turkey-Libya maritime deal rattles East Mediterranean  
2019/12/25 Reuters

<https://www.reuters.com/article/us-turkey-libya-eastmed-tensions-explain/turkey-libya-maritime-deal-rattles-east-mediterranean-idUSKBN1YT0JK>

<sup>2</sup> Libya policy threatens Turkey, Russia alliance  
2019/12/28 Arab News

<https://www.arabnews.com/node/1605086/middle-east>

<sup>3</sup> Israel to start exporting natural gas to Egypt in November — minister  
2019/7/25 Arab News

<http://www.arabnews.com/node/1530831/business-economy>

---

<sup>4</sup> BP Statistical Report of World Energy 2019 [المصدر](#)

<sup>5</sup> Israel to start exporting natural gas to Egypt in November — minister  
2019/7/25 Arab News

<http://www.arabnews.com/node/1530831/business-economy>

<sup>6</sup> Jordan starts getting gas from Israel despite heated opposition  
2020/1/3 Arab News

<https://www.arabnews.com/node/1607661/middle-east>

<sup>7</sup> Deal agreed for EastMed undersea gas pipeline to Europe  
2020/1/2 Arab News

<https://www.arabnews.com/node/1607616/business-economy>

<sup>8</sup> Erdogan, Putin inaugurate pipeline, discuss Libya, Syria  
2020/1/8 The Peninsula

<https://www.thepeninsulaqatar.com/article/08/01/2020/Erdogan,-Putin-inaugurate-pipeline,-discuss-Libya,-Syria>

<sup>9</sup> Deal agreed for EastMed undersea gas pipeline to Europe  
2020/1/2 Arab News

<https://www.arabnews.com/node/1607616/business-economy>

<sup>10</sup> Turkey-Libya maritime deal rattles East Mediterranean  
2019/12/25 Reuters

<https://www.reuters.com/article/us-turkey-libya-eastmed-tensions-explain/turkey-libya-maritime-deal-rattles-east-mediterranean-idUSKBN1YT0JK>